



篠原さん

市長への  
手紙から

## 公共林には広葉樹も植えてください

このコーナーは、「市長への手紙」をお寄せくださった人の中から、意見・提言などを紹介します。今回は、入山瀬の篠原静江さんからいただいた「植林」についてです。(「市長への手紙」の用紙は、各公民館などにあります)

### 市長への手紙

富士市にはヒノキや杉の山が、たくさんあるように聞いております。その木を切った後に、針葉樹だけでなく、広葉樹も植林していただきたいと思います。

土地深く根を張る広葉樹は、山崩れをも防ぐと言われています。民間の人たちは、何百年も山の木を回転させずに置くわけにはいきませんが、国や県、市

は、木をお金にかえなければならぬこともないでしょう。せめて公共の立場で山を守つてほしいと思っています。

また、広葉樹は山火事にも強い木を植え、秋には紅葉が眺められるようにしてほしいと思います。

また、大渕丸火の百ヘクタールの市有地に天然雜木林を生かした丸火自然公園(万葉の森)を市民レクリエーションの場として整備を進めてきましたところ、現在では多くの市民が利用しています。

市長への手紙ありがとうございます。

市有林については、篠原さんの御提言のように、一部で広葉樹と針葉樹の混植を始めました。五月に行われた市植樹祭では、「みどり

### 一部で混植を始めました

市長の答え

市長への手紙ありがとうございます。

市長への手紙ありがとうございます。



△広葉樹も植えられた植樹祭(5月)



市立博物館で竹取物語の和紙人形展を開いた「愛・紙人形富士支部」の代表者

たなかかずえ  
**田中数枝さん**

(南町)



半年以上前から構想を練り、衣装の時代考証などを図書館で勉強。寝食を忘れてつくつた作品もあり、今は無事でき、ほつとされています」と率直な感想。和服をと触れ合い親しむことのできる林づくりを行っています。

また、大渕丸火の百ヘクタールの市有地に天然雜木林を生かした丸火自然公園(万葉の森)を市民レクリエーションの場として整備を進めてきましたところ、現在では多くの市民が利用しています。

これから市有林の経営については、経済的効果のみを考えた植栽ではなく、春の新緑、秋の紅葉など市民が自然に親しむことのできる森林づくりに努めてまいります。

紙人形との出会いは、十年以上も前のこと。「何が趣味を」と思落ちついています。

ついたとき、本で紙人形を見、動きのある美しさに引かれました。早速、見よう見まねで挑戦したのがきっかけで、すっかり人形に魅せられてしましました。

「細かい作業が多く、根気を必要としますが、でき上がったときの満足感は何とも言いたいです。それに、きれいな和紙を広げて人形のことを考える、子供に帰ったような気持ちになります」と目を輝かせます。

次の目標は、グルーブの皆さんと源氏物語を考えているとか。最大の理解者である御主人と二人暮らし。短歌をたしなむ一方で、社交ダンスを楽しむ一面

ま  
ち  
か  
ど  
不  
ト  
ワ  
ク

「まちかどネットワーク」は、皆さんの地域の話題を中心にお届けするコーナーです。皆さんの身近で起こつた出来事、御意見などをお寄せください。連絡先：市内永田町一一〇〇 市広報広聴課 ☎ 三一〇三 内線三六三 締め切りは毎月十五日です。